

会員数4000人に

保険医新聞

6/15
2015年第1205号
(毎月5、15、25日発行)

敬告
大阪府歯科保険医協会
志岐 幸町1-2-33
浪速区幸町1-2-33
電話(06)6568-7731(代表)
http://osk-net.org/
●定価・年間10,000円 月1,000円
●1977年5月23日第三種郵便物認可

設立主旨 豊かに発展

協会は5月24日に開いた第52回定期総会で会員数が4000人を突破したことを報告した。発足から44年での達成を受け、小澤力理事長は談話を発表した。全文は次の通り。(4面関連)

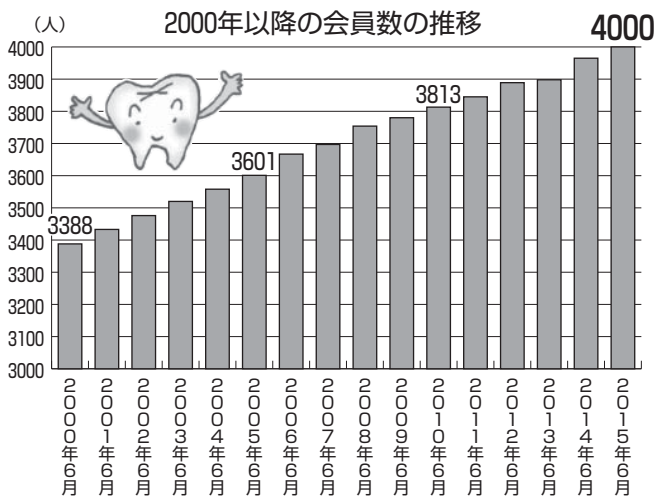
小澤力理事長が談話



豊かな形へと発展・継承されてきました。

1971年4月に結成された大阪府歯科保険医協会(発足時の名称は「大阪歯科保険医の会」、会員100人)は、2015年5月の第52回定期総会を4000人の会員で迎えることができました。この峰に到達できたことは、会員の先生方のご支持・ご協力のたまものとお礼申し上げます。

協会の設立主旨は二つでした。①保険でよい歯科医療を府民に提供すること②会員の権利と経営を守ることです。この主旨は、今日まで44年間の歴史のなかで、よ



ました。また、「保険でよい歯科医療を大阪連絡会」と共に、市民公開講座やパンフレット普及など多彩な取り組みのなかで、歯科医療の大切さを発信してきました。

豊かな形へと発展・継承されてきました。保険でよい歯科医療を提供するために、協会は地域住民や市民団体と協力して社会保障を充実させるために様々な運動を展開してきました。歯科医療は「平和」と「人間らしい豊かな生活」を基盤とする医療です。大阪府・大阪市を始め、各自自治体との交渉を重ね、無保険の子どもの問題や学校歯科治療調査などに取り組んできました。協会独自のデンタルローンも充実してきました。

44年間の協会活動の要は地区活動です。各地区での会員間の交流は、学術・親睦にとどまらず、その地区での医療の課題を積極的に取り上げ、地域の人々と協力して大きな運動へと発展しています。

いま、歯科医療は協会設立以来、未曾有の困難・課題に直面しています。平和と社会保障の問題です。いずれも歯科医療の基盤を揺るがす事態です。歯科医療の充実のために執行部・事務局が一丸となり、次の峰に向けて、次々と決意を込めて取り組んでいきます。

また、弁護士団では個別指導の法的問題点など、秋口の正式な結成に向けて諸規定を整備する。結成準備会で講演した西氏は、今まで手がけてきた30件余りの帯同経験から「弁護士としての立場は代理人ではなく帯同者であり、個別指導を法の支配の下に実施させ、デュアルロセス(法の適切な手続き)を守らせる空間づくりが役目である。医師が現場で萎縮し、質問に適切に答えられないことがないように精神的にも支えている。また、「カルテ指定は4日前(土日を除く)と前日であり、準備物が非常に多く先生方に大きな負担を強いている。手続き上、違法とまでは言えないが、運動で変えていかないといけない」と強調した。最後に「医師、歯科医師の権利擁護、その源泉は国民の命と健康を守ることにある。帯同事例を研究し、相互に情報提供し、各種研修に活かしたい」と抱負を語った。

指導帯同弁護士団結成へ

歯科・医科協会が準備会



個別指導への帯同弁護士団の結成へ準備会を発足＝5月23日、M&Dホール

規定を整備する。結成準備会で講演した西氏は、今まで手がけてきた30件余りの帯同経験から「弁護士としての立場は代理人ではなく帯同者であり、個別指導を法の支配の下に実施させ、デュアルロセス(法の適切な手続き)を守らせる空間づくりが役目である。医師が現場で萎縮し、質問に適切に答えられないことがないように精神的にも支えている。また、「カルテ指定は4日前(土日を除く)と前日であり、準備物が非常に多く先生方に大きな負担を強いている。手続き上、違法とまでは言えないが、運動で変えていかないといけない」と強調した。最後に「医師、歯科医師の権利擁護、その源泉は国民の命と健康を守ることにある。帯同事例を研究し、相互に情報提供し、各種研修に活かしたい」と抱負を語った。

市民講座に1771人

歯科医療関係者や患者らでつくる「保険でよい歯科医療を大阪連絡会」

保険でよい歯科医療を大阪連絡会



会場いっぱいの171人が参加した市民講座＝5月31日、M&Dホール

は、「食」の大切さを見つめ直す市民講座を5月31日、M&Dホールで開催した。会場いっぱいの171人が参加し、講師で助産師の内田美智子氏の話を耳を傾けた。

内田氏は、36年にわたって2800人を取り上げてきた経験から、多くの妊産婦と向き合ってきた「食事の大切さ」について、「食事は大切な生きづかい」と強調。10代で出産に至った女性と対話を重ね、「きちんと食事を与えられず、菓子パンやカップ麺など手間を省かれて育った人が少なくないことが分かった」と述べ、親の愛情を感じ

る。会場いっぱいの171人が参加し、講師で助産師の内田美智子氏の話を耳を傾けた。内田氏は、36年にわたって2800人を取り上げてきた経験から、多くの妊産婦と向き合ってきた「食事の大切さ」について、「食事は大切な生きづかい」と強調。10代で出産に至った女性と対話を重ね、「きちんと食事を与えられず、菓子パンやカップ麺など手間を省かれて育った人が少なくないことが分かった」と述べ、親の愛情を感じ

る。会場いっぱいの171人が参加し、講師で助産師の内田美智子氏の話を耳を傾けた。内田氏は、36年にわたって2800人を取り上げてきた経験から、多くの妊産婦と向き合ってきた「食事の大切さ」について、「食事は大切な生きづかい」と強調。10代で出産に至った女性と対話を重ね、「きちんと食事を与えられず、菓子パンやカップ麺など手間を省かれて育った人が少なくないことが分かった」と述べ、親の愛情を感じ

今日の数字
100人
協会発足時(1971年)の会員数。ニーズに沿った活動を続け、2015年6月に4000人を達成。

の革命以来、想像敵国士だったキューバ。1961年、オバマ政権はロシア、中国、イランとも関係改善を課題としているが、空振りばかりでランナーが出そうにもない。キューバは数億インギ目得点である。

アメリカによる経済制裁の間にキューバは変身した。市場原理を導入し、日本の一割くらいの人口ながら経済成長が著しく、一次産業だけでなく観光業まで躍進した。なぜか、国民の身体能力が高く、野球をはじめオリンピックのメダリストも多く、外国へコーチを派遣して外貨も稼ぐ。国策による教育と医療の無料化の成果なのか。

PR増刷号
今号は大阪府下の全歯科開業医の先生方にお送りしています。この機会にぜひ協会にご入会下さい。ご入会、協会の概要については、組織部までお気軽にお問い合わせ下さい。

未入会の先生に、この新聞をお送りするに際し、近畿厚生局・各種名簿などで情報を取得しました。「郵送を断る」などございましたら当協会事務局(TEL 06-6568-7731)まで。